

答弁書第三七号

内閣参質第一九号

昭和二十五年二月十八日

内閣総理大臣 吉田 茂

参議院議長 佐藤 尚武殿

参議院議員小林勝馬君提出国民金融公庫に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

参議院議員小林勝馬君提出国民金融公庫に関する質問に対する答弁書

充分な事業能力を有する国民大衆に対し、その生活の再建のために必要な資金を供給することは、民生の安定と経済の復興とに欠くべからざることであるが、最近の金融情勢においては、一般の金融機関からこの種の資金の供給を受けることは、なかなか困難な状況にあるため、国民金融公庫に対する資金の需要は、極めて多いのである。公庫は、発足以来十二月末までに、生産資金八億円、更生資金三億九千万円の貸付を行い、鋭意その目的の完遂に努力して来たが、更に、昭和二十五年においては、国民金融公庫の資本金を更に十二億円増加して三十億円とする外、更生資金についても、五億円を増加するとともに、公庫の機構を充実し、一般大衆に対する事業資金の供給をより円滑に行いたいと考えている。

一、国民金融公庫業務所在地

本 所 東京都台東区東黒門町一八

業 務 部 東京都中央区新川町一ノ五

札幌支所 札幌市南三條西四丁目一四

仙台支所 仙台市茂市ヶ坂八ノ一

新潟支所 新潟市東中通一番町八六

前橋支所 前橋市堅町一五

浦和支所 浦和市岸町三ノ七六

横浜支所 横浜市中区尾上町五ノ七一

金沢支所 金沢市南町八八

名古屋支所 名古屋市中区門前町三ノ二五

京都支所 京都市下京区七條通猪熊東入西八百屋町一六〇

大阪支所 大阪市東区平野町二ノ一二ノ二ノ二

和歌山支所 和歌山市新通七ノ八

神戸支所 神戸市生田区三宮町一ノ三四〇ノ三

広島支所 広島市袋町七ノ一

高松支所 高松市外磨屋町五一

小倉支所 小倉市三萩野一〇五〇ノ六

福岡支所 福岡市渡辺通四ノ二三

大分支所 大分市大字駄ノ原一八〇ノ一

熊本支所 熊本市横紺屋町一〇(商工会議所内)

鹿児島支所 鹿児島市六日町二〇

備考

- 1 右の外、駐在所が六ヶ所(秋田、静岡、山口、松山、長崎、宮崎)にある。
- 2 昭和二十五年度的においては、新たに支所を十ヶ所に増設する予定である。
- 3 その他代理店とも全国の銀行、無盡会社、信用組合合計四二八ヶ所に業務の代理をさせている。

一 昭和二十四年度生業資金並びに更生資金の各申込数、貸出口数及び貸出総金額

業務 名称	生業資金				更生資金			
	申込数	貸出口数	貸出金額	貸出金額	申込数	貸出口数	貸出金額	貸出金額
本所	二〇、八三 <small>件</small>	三、七六〇 <small>件</small>	三、七六〇 <small>千円</small>	三、七六〇 <small>千円</small>	五、六三三 <small>件</small>	三、八三二 <small>件</small>	三、八三二 <small>千円</small>	三、八三二 <small>千円</small>
札幌	一、一三三	四〇三	三三、二六〇	一、六六一	七四一	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
仙台	一、七七七	六〇一	二五、〇五五	五、一九九	二、四九九	二五、五二五	二五、五二五	二五、五二五
新潟	二九五	四九	四、四八五	四二〇	四七二	七、七三三	七、七三三	七、七三三
前橋	七五九	三七七	二八、五五六	九三三	六九六	一〇、四三四	一〇、四三四	一〇、四三四
浦和	一、一六八	一五九	一〇、五九三	六五七	三三三	四、七六〇	四、七六〇	四、七六〇
横浜	二、二四九	五三〇	二七、二三三	二、三〇一	一、二二六	一七、〇五五	一七、〇五五	一七、〇五五
金沢	六六三	三五六	一三、三九九	一、六三三	一、三三五	一六、七七七	一六、七七七	一六、七七七

名古屋	三、三五一	一、二〇一	四、七七〇	三、五四三	一、八三三	一九、七七六
京都	二、〇八六	五、六〇〇	二、九二三	二、六一九	九、六二九	二〇、九〇八
大阪	二、五五一	四、六	五、八七三	二、三三〇	一、三〇八	二二、七三六
和歌山	五、六三	二、八九	一、六四三	三、八四	三、三六	五、八七三
神戸	七、七九	三、八九	三、五七三	二、六九八	九、七	三、一七四
広島	一、六四〇	五、五九	三、七六	一、六〇四	一、一七三	二、九、四四九
高松	七、九	三、三三	一、七、五二〇	二、九五七	一、六三三	三、一七四
小倉	三、六九四	七、七	三、七、三六	五、一三〇	三、三三一	四、五、八九八
福岡	八、四四	三、六	一、五、四八	二、六〇三	七、三	一、二、四八七
大分	二、四三三	六、二	三、一六七	三、一五九	八、六三	一、四、七〇一
熊本	一、四八八	三、六	一、九、六五	二、七〇七	四、九	一、四、五四六
鹿児島	四、一六〇	二、九七三	八〇、三三三	四、七、七三	三、五、二七二	三、九、〇四六
計						

一 昭和二十五年年度資金計画

一、普通小口貸付

月別	貸付	高	回収	高	月末残高	備考
四	一二三、九四八	三〇、一五一	一、〇九七、五三三	昭二五、三、三二	残高	

(單位千円)

五 一三一、三九一 三三、七三二 一、一九五、二〇二 一、〇〇四、七三六

六 一三四、七八〇 三七、二三三 一、二九二、七四九

七 一三八、二九一 四〇、八三四 一、三九〇、二〇六

八 一四一、八九二 四四、五三一 一、四八七、五六七

九 一四五、五八九 四八、三二二 一、五八四、八三四

一〇 一四九、三八〇 五二、二一四 一、六八二、〇〇〇

一一 一五三、二七二 五六、二〇六 一、七七九、〇六六

一二 一六三、二六四 六〇、三〇四 一、八八二、〇二六

一 一六七、三六二 六四、六六四 一、九八四、七二四

二 一六五、七二三 六九、一三八 二、〇八一、三〇九

三 一七〇、一九五 七三、五六九 二、一七七、九三五

外に余裕金等

二九、六二二

(一、八一三、七〇八)

平均残高

合計 一、七八四、〇八七 六一〇、八八八 一、六三六、二六三

二、更生資金貸付

(單位千円)

月別	貸付	高	回	收	高	月	未	残	高	備	考
四	六一、九三一			二三、五六一		二、五〇九、四六六				昭二五、三、三一	残高
五	六二、六三二			二四、一一七		二、五四七、九七一				二、四七三、九八四	
六	九五、八七一			五六、七五八		二、五八七、〇八四					
七	七二、一八七			三三、四八〇		二、六二五、七九一					
八	七二、九八二			三四、二七五		二、六六四、四九八					
九	七三、九七〇			三五、二六七		二、七〇三、二〇一					
一〇	七五、一二三			三六、三三二		二、七四二、〇〇二					
一一	七六、二五五			三七、三七五		二、七八〇、八八二					
一二	七七、四三九			三八、四四八		二、八一九、八七三					
一	七八、四一六			三九、三六五		二、八五八、九二四					
二	一〇四、七八四			六五、七三〇		二、八九七、九七八					
三	八一、八〇〇			四二、七四六		二、九三七、〇三二					

外に余裕金

三四、〇六四

(九六七、四四〇)

計

九三三、三八〇

四六七、四四四

平均残高 二、七三三、八九一

府

総人口 引揚者数

総人口に對する比率

戦災焼失戸数

強制疎開による取毀戸数

計

道府	総人口	引揚者数	総人口に對する比率	戦災焼失戸数	強制疎開による取毀戸数	計
北海道	四、〇三二、〇五〇	三三三、六二七	一〇、二	六、八四二	二、八六八	一八、七〇九
青森	一、二二八、三三五	八三、四四四	七、六	二六、三四七	一、八一〇	一八、〇五七
岩手	一、二九四、二〇三	八七、三六八	七、六	五、七三三	一、四八二	七、二五五
宮城	一、五九六、三〇七	一四〇、七四八	一〇、〇	二、八〇三	二、一九六	一四、九九九
秋田	一、五八三、七〇〇	六七、九九九	六、〇	一八一	一、七五〇	一、九三一
山形	一、三四六、四九三	一〇五、九三三	八、九	一一七	六、九三六	七、〇四三
福島	二、〇二六、四八二	一三二、六四四	七、三	一、九二七	四、四八八	六、三七五
茨城	二、〇四四、五七六	一三五、二八八	六、九	二九、三三九	二、三六七	三二、六九六
栃木	一、五五七、八六〇	九五、二〇四	六、九	一一、五九二	一、五三八	一三、一三〇
群馬	一、六〇八、八九四	六三、五四四	四、四	二五、二九四	二、九〇五	一八、一九九
埼玉	二、一三三、三三二	一一五、一八〇	六、一	三、九四二	二、二八八	六、二九九
千葉	二、一四〇、五二二	一三九、五八八	七、四	二、〇三〇	六、三九五	二六、四三五

東京	五、四七、八七一	三六一、〇六七	七、五	七九、〇四九	二〇七、三七〇	九七六、四一九
神奈川	二、三三、五五一	一三一、六九〇	六、四	一四六、六八六	三五、四四〇	一八三、二六
新潟	二、四三、五三一	一七九、七九二	八、三	一一、四三〇	七、二一〇	一八、五三〇
富山	九九八、三四九	六三、八八三	七、一	三三、〇八六	四、三五三	二七、四九
石川	九四一、七七三	八六、三三三	一〇、三		二、一七三	二、一七三
福井	七三三、三七四	五七、三三三	八、八	三五、七〇八	二、四四五	二八、一五三
山梨	八二五、四八五	六四、二七三	八、八	一八、七三〇	一、八七	一八、八〇七
長野	二、〇七九、六八二	一六七、九六一	九、一	一三	二、八三三	二、九七〇
岐阜	一、五三四、八二二	八七、〇七六	六、四	二七、七九	六、七三一	三四、五三九
静岡	二、四〇七、一〇二	一三九、七七	六、五	八一、六五一	三、九三	八五、五七三
愛知	三、三三六、二一六	一四四、三三六	五、〇	一八三、〇三九	三四、二八二	二二七、三三
三重	一、四五一、一〇〇	七九、〇七	六、一	四〇、一九四	三、三六七	四三、五六
滋賀	八七三、七七五	六三、〇〇七	八、一	八一	三、〇一〇	三、〇九
京都	一、七四四、七三三	一一〇、六二	七、〇	四七七	二〇、九〇六	二、三六三
大阪	三、五五、三三五	一八六、八〇九	六、〇	三七三、二六五	八二、五〇八	四五五、七三
兵庫	三、一五六、八八八	一八四、八七七	六、六	一九六、五六四	三二、一七三	三三、三六三

奈良	七七八、六七七	八三、五四八	一一、八	一四〇	三八八	四三八
和歌山	九七九、九三二	八二、四八八	九、五	三〇、三六五	三、三五五	三三、七二〇
鳥取	五九三、八六三	五三、八八一	一〇、一	五四	一、七二〇	一、七六四
島根	九〇三、五七六	七、五九三	九、七	一〇	七、〇六〇	七、〇七〇
岡山	一、六五〇、二八五	一一五、四三三	八、六	三六、三〇五	二、六五八	二八、九六三
広島	三、〇四五、九三三	二三五、四五六	一一、五	一〇三、四七六	三二、三六六	一一三、八六三
山口	一、五〇五、五三三	三〇一、一六四	一一、一	三二、二六七	五、八四一	二七、一〇八
徳島	八六九、二九〇	五三、一六四	六、九	一八、六二三	一、八九五	三〇、五〇七
香川	九三四、一三三	八三、五九五	一〇、〇	一六、四四八	一、六四四	一八、〇九三
愛媛	一、四八一、一〇六	一〇三、四九〇	七、九	二九、〇三〇	四、八二七	三三、八四七
高知	八六六、三六五	六九、一六七	八、〇	一一、七八九	四六六	一一三、二五五
福岡	三、三二二、五七七	三九二、八三七	一一、四	五四、九三三	四一、六六七	九六、五八九
佐賀	九三二、三三六	一一八、八二〇	一一、六	九六七	一、〇八七	三、〇五四
長崎	一、五六五、五五八	一七〇、八〇八	一一、三	三三、六七三	一四、三五七	四七、〇三九
熊本	一、七六六、〇五八	三〇三、〇八二	一一、一	一四、四五六	三、〇一〇	一七、四六六
大分	一、三四五、六八三	一一五、七五八	一一、一	四、五一〇	六、三三五	一一〇、八四五

宮崎	一〇五、四八三	一五、七九	二、三	一〇、五〇三	一、一三八	一一、六三〇
鹿兒島	一七六、五二四	三三、九五	二四、二	五、三五八	一、七五二	五八、一〇九
計	八〇、二六、八六六	六、三四、四三三	八、八	二、四五、八〇八	六四、一三六	三、六九、九四四
備考	総人口は昭二三、八の常住人口調査の数字である。					
	引揚者数は昭二四、一二末現在の司令部報告数について作製せるもの					

昭和二十五年年度の資金計画は左記の通りであるが各都道府県別の貸出計画については予算が決定してから諸般の事情を考慮の上決定する予定である。

イ 普通小口貸付

直接貸付 一、二七一、〇〇〇千円

代理貸付 五一三、〇〇〇千円

ロ 更生資金貸付

直接貸付 三五〇、〇〇〇千円

代理所貸付 五八二、〇〇〇千円